

令和 8 年 1 月 14 日

福島大初の品種登録！モモ「福島大学 1 号」

福島大学食農学類で出願したモモ品種「福島大学 1 号」が【登録番号：第 31385 号、登録日：R7. 10. 30】として、農林水産省に品種登録されました。本学からの品種登録は初めてとなります。

「福島大学 1 号」は、「あかつき」の孫にあたる系統で、親品種の「紅博桃」と比べて収穫時期が約 3 週間遅い晩生品種です。

果皮全体の赤着色は控えめである一方、モモの筋にあたる縫合線がはっきりと赤く発色する外観的特徴を持ち、既存品種との差別化が可能です。

■ 品種登録情報

品種名：福島大学 1 号（フクシマダイガク 1 ゴウ）

登録番号：第 31385 号

登録日：令和 7 年 10 月 30 日

※内閣府発行の官報（号外 241 号、令和 7 年 10 月 30 日発行）にも掲載されています。

■ 概要

近年のモモ栽培では、温暖化等の影響により果実品質の低下や生育障害が問題となっています。本品種は、栽培上の課題となりうる形質を複数有しており、このような困難な条件下でも安定した果実生産を実現するための栽培技術や育成法を開発する上で、有用な研究材料となります。なお、本品種を用いた研究成果については、これまでに論文や学会で発表しております。

■ 研究の背景

本研究の端緒は、モモ園における現地調査の際、園主より「枝変わりと思われるモモの枝が見られる」とのご相談を受けたことにあります。その後、園主のご厚意により穂木の提供を受け、福島大学において詳細な調査を行った結果、形質に顕著な特徴が認められることが確認されました。本学では、園主との連携のもと、本サンプルが研究上きわめて貴重であると判断し、研究を進めるための一環として栽培を開始しました。

■ 今後の展開について

本品種は、遺伝的変異の起き方がきわめて異例で、果実における熟期や障害発生な

ど、昨今の温暖化も含めた果実形質の劣化や変化に關係して、調査研究の題材となります。今後も研究用として、貴重なサンプルとして、引き続き栽培していきます。



(お問い合わせ先)

食農学類・准教授 高田大輔

電話 : 024-503-4061

メール : dtakata@agri.fukushima-u.ac.jp